



2018年 平成30年

謹んで新春のご祝詞を申し上げます

明けましておめでとうございます。

昨年、好調な世界経済に伴い、日本国内においても底堅い内外需を背景に、総じて緩やかな回復基調に移りました。今後もその傾向は政府の経済対策、災害復興、さらに東京オリンピック・パラリンピックにより持続するものとみられます。海外についても、北米における積極的なインフラ投資や東南アジアにおける内需拡大政策、更には中国の経済回復等、事業環境は回復基調を辿るものと期待しております。

一方で、自動運転技術・電気自動車技術の急速な進化と普及に伴う産業競争軸の転換など、世界のマクロ情勢は大きく変化しつつあり予断を許しません。

このような事業環境の見通しの中で、当社は今年で創業100周年という節目を迎えます。これまで弊社製品をご愛用頂き深く感謝申し上げます。今後もこれまで以上にお客様の声に直結したモノづくりを進め、皆様のご要望から離れる事の無きよう、誠心誠意企業努力を重ねて参ります。

本年も、変わらぬご指導ご愛顧を賜りたく、宜しく願い申し上げます。

酒井重工業株式会社 代表取締役 酒井一郎



明けましておめでとうございます。

2018年は当社が創業100周年を迎える年です。

営林署向け機関車の開発からスタートし現在の道路機械専門メーカーとしての地位を築くことが出来たのもひとえにお客様のおかげであり感謝申し上げます。

今年は101年に向けてのスタートの年でもあります。今後も喜んで頂ける内容をお届けすべく SAKAI ニュース編集委員一同、気を新たに努力して参りますので、変わらぬご指導を宜しく願い申し上げます。

サカイニュース発行人 水内健一 および 編集委員一同



営業所紹介～大阪営業所～

大阪営業所は、近畿2府4県と四国4県を担当エリアとし大阪府北部の摂津市に立地しています。摂津市は、いわゆる「北摂」と呼ばれる地域にあり、大阪市内中心部から車で30分から40分ほど走ったところに位置しています。営業所から阪神高速や名神高速、中国道、近畿道の各高速道路の乗り口が比較的近いこと、各方面へのアクセスがしやすい位置です。営業所の周辺は、運送会社や倉庫が多く立地しており大型車両も多く、東海道新幹線の鳥飼車両基地も営業所の付近にあるので、車両基地に入ってくる新幹線を見ることが出来ます。

大阪営業所のエリアで売れている機種の中に2016年に発売された4t土工振動ローラ SV204T というモデルがあります。香川県はため池の数が全国3位と多く、これまでもため池の整備に4t土工用振動ローラが使われてきました。そのためSV204Tも同様に、ため池の整備用として香川県内のお客様からご好評頂いております。

当営業所の保管倉庫にはハンドガイドローラ、プレートコンパクタ、ランマといった小型製品を在庫しております。そのため、お客様からの注文に迅速な対応ができる体制を整えております。また、保管倉庫にコンバインドローラなどの搭乗型ローラも格納することもできます。そのため実車を見ながらの営業分科会やサービス分科会を営業所内で開催でき、お客様へのきめ細かなサービス提供に繋がっています。また、最新の製品カタログだけでなくかつて使用していたカタログや資料が保存されており、その中には弊社の名称が「酒井工作所」時代の資料も残されております。

大阪営業所は、近畿・四国2府8県におよぶ多くのお客様によって支えられております。今後ともお客様からの期待により一層応えられるよう大阪営業所員一丸となって努力してまいります。また、お近くに来られた際はぜひお立ち寄りいただければと思います。



生産拠点紹介～SAKAI AMERICA, INC.～

酒井重工業の海外子会社である SAKAI AMERICA, INC. (以下 SAI) を紹介します。

SAI は、アメリカ南東部、ジョージア州の州都であるアトランタから、車で北へ1時間程のアデアーズヴィル市に位置しております。福岡市とほぼ同緯度、四季もあり、我々日本人にも過ごしやすい地域です。立地としては、アメリカ東部を縦断する州間高速道路75号線からのアクセスが良い工業団地の一角に、約18万㎡の広大な敷地内に事務所、工場があり、製造、販売会社である SAI にとって、物流の面で大きなメリットとなっています。

SAI は、1976年に北東部のデラウェア州に輸入販売を目的として設立され、2000年に現在の場所に製造会社 SAKAI AMERICA MANUFACTURING, INC. を設立、2008年に製造、販売会社を統合し、現在の SAI という歴史を辿っております。主な業務内容は、自社製造製品および酒井グループから輸入した製品の販売とアフターサービスの提供です。

今期、SAI 製造部門は大きな転換期を迎えています。先期まで、SAI は北米市場向けの土工用ローラ 2 機種のみを製造しておりました。今期は既存の土工用ローラのモデルチェンジが 2 機種、10 月からはこれら機種に合わせ、大型舗装用ローラの製造を、約 10 年ぶりに再開いたします。これに伴い、従業員、駐在員を増員、また今期の製品販売台数を、前年比で約 2 割増を目標に掲げ、製販一丸となって業務に当たっております。現在の SAI 製造部門にとって 1 年間に 3 機種の量産化はとて大きなチャレンジではありますが、3 機種の量産化の成功を必達事項とし、個々それぞれに努力し、従業員の士気は非常に高くなっています。

業界は異なりますが、日系メーカーの乗用車がアメリカで数多く走っているのを見かけると、同じ日系メーカーとして刺激を受けています。

成田 - アトランタ間の移動は飛行機の場合、直行便でも約 14 時間かかります。我々駐在員でも、移動する際は非常に腰が重くなる距離感になりますが、お近くに来られた際には、ぜひお立ち寄りいただければと思います。



新製品紹介 ～新型小型締固め機械～

酒井重工業は、このたび新たに小型締固め機械の搭載エンジンとカラーリングを一新して、全国発売しました。

1) プレートコンパクタ PC43/43SL、53、63

搭載エンジンを変更しました。従来機からご好評のサカイ独自の転圧板反転機構“ぐるっとプレート”を採用し転圧板の寿命を延ばします。

また、オプション装備として、施工品質の向上に役立つ“散水装置”、搬送に便利な“跳ね上げ車輪”、スロットル操作のわずらわしさを解消する“手元スロットルレバー”、保管や搬送時の省スペースに最適な“折りたたみハンドル”を揃えております。



		PC43/43SL	PC53	PC63
機械質量	kg	47 / 52	54	63
全長×全幅×全高	mm	850×298×790	905×340×845	915×360×850
転圧板	mm	298×480	340×530	360×545
エンジン	-	ホンダ GX100		ホンダ GX120

2) ランマ RS45、55、65

搭載エンジンを変更しました。新型機からアワメータをオプション品として設定し、ボタン切替でエンジン回転計としても使用できます。



		RS45	RS55	RS65
機械質量	kg	52	57	69
全長×全幅×全高	mm	675×375×1,015		715×390×1,040
打撃板	mm	230×340	260×340	280×340
エンジン	-	ホンダ GX100		

3) ハンドガイドローラ

超低騒音型の“HV520”と“HV620”、低騒音型の“HV80ST”と“HV58”のオプションとして足元を照らす足元灯を設定しました。このライトは前照灯だけでは照らすことができなかった後輪のエッジ周りを照らすことで端部転圧や後進時の安全を確保することができます。

この足元灯オプションは、サカイのハンドガイドローラ全機種にオプション設定しておりますので、是非ご検討ください。



足元灯オプション

今後ともサカイの小型締固め機械にご期待ください。